

海底生物の「珍渦虫」 成長過程を解明 筑波大が世界初

に掲載された。

珍渦虫は体長1〜3センチで海底100メートルの泥の中にすむ。脳や肛門など多くの動物に見られる器官を持たない単純な構造をしている。135年前に発見されたが、卵からどのように成長して成体になるかは謎だった。

【つくば】筑波大学の
中野裕昭助教らは欧州の
海底の泥の中に生息する
「珍渦虫(ちんうずむし)」
という動物の成長過程を
世界で初めて明らかにし
た。ヒトを含めて現在、
生きている動物の進化過
程の解明につながると期
待される。成果は英科学
誌ネイチャー・コミュニ
ケーションズ(電子版)
に掲載された。

研究チームは真冬にス
ウェーデンでこの虫を採
取。実験室で飼っていた
ところ、卵と幼生を9匹
発見した。幼生は楕円形
で約0・2ミリメートル。体表の
繊毛を動かし、回転しな
がら泳いでいた。外部に
口、目、手足などはなか
った。幼生は5日ほどた
つと筋肉を使って体を伸
縮させ、成体とほぼ同じ
ように行動した。